

# ウーロンゴン大学

## 留学報告書

|            |  |         |                |          |
|------------|--|---------|----------------|----------|
| 学部学科・研究科専攻 | 観光学部観光学科   |         | 留学時学年          | 2年       |
| 留学先        | 国  | オーストラリア | 大学/機関          | ウーロンゴン大学 |
| 期間         | 2026年2月21日～2026年3月6日   |         |                |          |
|            | <input checked="" type="radio"/> 短期 ・ <input type="radio"/> 中期 ・ <input type="radio"/> 長期<br>※○で囲んでください。 |         | 計 2週間（予定では1ヶ月） |          |

### [1] 参加したコースの時間数と時間割

- 授業時間数： 70 時間
- 科目名（受講した科目を全てご記載ください）： Group Program General English

#### 【時間割】

| 時間          | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土    | 日    |
|-------------|---|---|---|---|---|------|------|
| 例) 9時～13時   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○    | Free |
| 8:30～10:30  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | Free | Free |
| 11:00～12:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | Free | Free |

### [2] クラス編成や授業方法について教えてください。

- 【例】クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等  
 1クラスの人数は、他大学の留学期間によって変動があるが、18人（日本人：17人、韓国人：1人）のクラス編成であった。毎授業配布されるプリントやスクリーンに投影された授業資料をもとに授業が進められた。授業形態としては、生徒間やグループワークでの英会話を中心に、ゲーム形式やディスカッション形式の授業が展開され、オーストラリアの動物や文化、英文法を学習した。

### [3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

12:30には授業が終わるため、放課後は大学から無料バスで行くことのできるビーチやショッピングセンターへ行き、現地の空気感を楽しんでた。また、オーストラリアの主となる観光地であるシドニーへは片道2時間強かかり、放課後に行くことは難しかったため、まとまった時間の取れる週末に同じ短期留学で来ている東海大学のメンバーとシドニーへ行き、オペラハウス等の観光地巡りやシドニーの街並みの散策、ランチ等を楽しんだ。

#### [4] よく利用した施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

大学内では、授業後に校内にある小さなスーパーやカフェをよく利用していた。学外では、現地の方の様子やお店の雰囲気を感じたかったため、「Wollongong Central」というショッピングセンターや通学等に利用する現地の交通系 IC カードのチャージのため、ホームステイ先近くの「Figtree Grove」というショッピングセンター内のお店を利用していた。

#### [5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋 1 人で使用

様子：

ホームステイ先には私の他に東海大学の方が 1 人おり、ホストファミリーはホストマザーのみであった。朝食（7 時前）や夕食（18 時～19 時頃）は毎日ホストマザーが用意してくださっており、夕食前後にシャワーを済ませ、20 時半～21 時には自室で寝る支度をしていた。ホストマザーが中国出身の方だったため、夕食は唐辛子系の中国の家庭料理が中心であり、食事量も優しさからだが食べ切れない程の量を盛られてしまっていたため、食事量や苦手な物について伝え、理解してもらうのに時間がかかり大変だった。洗濯は週に 2 回させてもらい、雨予報で外に干せない時はベランダにホストマザーから洗濯ロープを借りて干していた。

#### [6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

##### ● 楽しかったこと：

今回の留学が自身にとって初めての海外だったため、日本と異なる街並みや建物の雰囲気、バスや店内での現地の方の空気感といった見るもの全てが新鮮に感じ、楽しかった。

##### ● 苦労したこと：

ホームステイ先で実践的に英語で会話し、耳を慣らすことで自身の英語力を磨きたいという目的があり、ホームステイでの留学を選択したが、ホストファミリーがほぼ英語を話すことができなかつたため、英語を使って会話をする環境になく、ホームステイでの目的が失われたことに苦労した。そこで、ホームステイ先の変更を大学側に掛け合ってお願ひしたが叶わず、ホストマザーとは中国語から日本語（又は英語）への翻訳を介して会話をする事が多く、英語で会話をする環境になかつたため、レジや道案内といった生活面で自ら積極的に英語で会話をするように努力していた。

#### [7] 留学の成果について教えてください

##### 1) 語学力の向上：

授業がほぼ日本人クラスだったため英語に触れる機会が少なく、また一番英語を使って会話をする機会の多いホームステイにおいて、ホームステイ先の方がほぼ英語を話すことができない方だったため英語で会話をする環境になく、語学力の向上に繋がらなかつた。

##### 2) 専門知識の向上：

授業や校外学習（動物園での学習や植物園散策等）を通じて、オーストラリアの動植物や文化等の知識を身に付けることができた。

### 3) 自己成長など：

今まで学校で学び得た英語力を実践的に試す場がなかったため、留学を機会に自身の英語力がどのくらい通用するか試したいと思い、有人レジでの注文や現地の方に道案内を聞く等して、積極的に自ら英語で話す機会を作り、自身の話した内容が通じていることに少し自信がついた。また、同じ留学プログラムに参加し同じホームステイ先の方が、海外で生活できるくらい一人で行動したいという思いがあり、学校帰りや放課後に一緒に行動することに期限を設けることとなった。そのため、初めての海外で一人で行動することに大きな不安があったが、分からない点は現地の方に聞きながら一人でシドニー等へ行き、行動力がついた。

## [8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

時期的に長期休みのため日本の他大学からの留学生が多く、私も含め他のクラスでも日本人クラスが多く、またオーストラリアは多国籍国家のため、英語を話すことのできないホームステイ先に当たる場合もあります。そのため、授業やホームステイでの英語力の向上を期待して留学をすることはあまり避けた方が良いと思います。しかし、日本と異なる環境に身を置いて生活することは、建物の雰囲気や現地の方の空気感といった全てが新鮮で、貴重な経験になると思います。また、ウーロンゴンという地域で見ると、声をかけた方皆優しく、人情溢れる地域であると感じ、安心した留学生生活を過ごせるのではと思います。

## [9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

|    | 内訳                                    |                         | 金額<br>(留学時の日本円) |
|----|---------------------------------------|-------------------------|-----------------|
| 1  | 短期留学者のみ                               | 旅行会社に支払った経費（授業料、フライト代他） | 780,000         |
| 2  | 中期・長期留学者のみ                            | フライト代                   | 0               |
| 3  | 中期・長期留学者のみ                            | 滞在費（寮費・ホームステイ代など）       | 0               |
| 4  | 教材費                                   |                         | 0               |
| 5  | 保険代                                   |                         | 16,980          |
| 6  | 私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）               |                         | 15,000          |
| 7  | 個人的な買い物                               |                         | 16,000          |
| 8  | その他（ パスポート取得、eSIM 契約、ホストファミリーへのお土産等 ） |                         | 30,000          |
| 9  | 留学に関する費用（1 から 8 の合計）                  |                         | 857,980         |
| 10 | 受給した奨学金（奨学金名： ）                       |                         | 0               |
| 11 | 留学に関する費用総額（上記 9 から 10 を引いた額）          |                         | 857,980         |

